

# 赤十字防災セミナー



災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、  
「赤十字防災セミナー」に参加してみませんか？

**対象** 町内会・自治会から小学校区程度までを範囲とし、原則として地域住民の方

**会場** 地域のコミュニティセンター、公民館、学校教室・体育館など

**内容**

- ・ 災害への備え
- ・ 家具安全対策ゲーム (KAG)
- ・ 災害エスノグラフィー
- ・ おうちのキケン
- ・ 災害図上訓練 (DIG)
- ・ ひなんじょ たいけん

以上のカリキュラムを、自由に選択・組み合わせることが可能です。

詳細は裏面をご覧ください。

# 「自助」と「共助」の力を高め、人々のいのちを守りたい

私たちは、赤十字防災セミナーを通じて、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指します。

例えば・・・

## 今後、発生が予測される大規模災害に対して

私たちは、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。

	南海トラフ地震	首都直下地震
今後30年以内の発生確率(※)	70~80%	70%
最大想定死者数	約23万1千人	約2万3千人

※ 平成28年(2016年)に発生した熊本地震の発生確率は、発生時点ではほぼ0~0.9%でした。

出典：地震調査研究推進本部ホームページ（令和3年3月時点）、第39回中央防災会議資料、防災対策推進検討会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ資料（平成25年12月公表）

## 【カリキュラム一覧】

- 1 日本赤十字社の紹介（約10分間）**  
日本赤十字社の現在の活動内容や、災害時の役割、防災・減災への取り組みについて理解する。
- 2 災害への備え（約60分間）**  
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 3 災害エスノグラフィー（約120分間）**  
大規模災害の被災者の体験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 4 災害図上訓練（DIG: Disaster Imagination Game）（約120分間）**  
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 5 家具安全対策ゲーム（KAG）（約30分間）**  
**おうちのケン（小学5・6年生普及モデル）（約45分間）**  
自宅（部屋）の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や危険な場所を把握し、家具の安全対策の必要性を理解する。
- 6 ひなんじょたいけん（約90分間）**  
避難所を作るカードゲームを通じて、大地震後の避難所生活の一部を体験し、「避難者の目線で心がける要点」を理解する。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせることで実施

地域住民の  
防災・減災に関する  
知識・意識・技術の  
普及向上

地域における  
災害発生時の  
応急対応にあたる  
リーダー層の育成

## Q 日本赤十字社がなぜ地域住民の防災教育を？



A これまで私たちは、長年にわたり救護活動の経験を蓄積してきました。各自治体が実施する防災対策と連携しながら、赤十字のノウハウを活用して、全国に約30万近く存在する地縁団体（自治会、町内会）のレベルから、地域の「自助」と「共助」の力をさらに高められるようサポートします。



日本赤十字社兵庫県支部  
事業部 救護課講習係（担当 北村）

電話 078-241-1499

E-Mail [kousyu@hyogo.jrc.or.jp](mailto:kousyu@hyogo.jrc.or.jp)

セミナー紹介動画はこちら⇒  
(YouTube)

